

令和4年度 第1回 島田市立小学校及び中学校通学区調査審議会報告

日時 令和4年10月25日(火) 18:55~20:40

会場 島田市役所会議棟C会議室

出席者 委員：杉本容康、牧野高彦、鈴木源、木村真悟、西野宏明、藁科博、杉本静雄
鳥居修、小島育乃、亀山泰弘

事務局：山中教育長、中野教育部長、村田学校教育課長、興津係長、伊藤係長

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

- ・2校に絞られた経緯の説明
- ・定例教育委員会及び総合教育会議において議題として検討され、大津小学校が適しているとの方向性が示されたことの報告

4 委員紹介

5 委員長、副委員長選出

委員長に杉本委員、副委員長に牧野委員を選出

6 諮問内容の説明

- ・候補校となった経緯、今後予想される児童数及び考えられる通学方法の説明
- ・保護者アンケート結果の報告

7 審議 主な内容

○川根地区

- ・通学に掛かる費用の面、通学手段について課題はあるが現在もスクールバスで時間を掛けて通学している子がいる。
- ・校舎は新しく広さも十分あるので、もっといろいろな人たちに行事などで活用してほしい。
- ・台風15号の被害で地域を挙げて片付け作業に取り組んでいただいたように、地域が学校運営に協力的である。

○大津地区

- ・茶摘み体験、田植え体験、読み聞かせなど地域の方々の協力をいただいている。
- ・福祉の施設を受け入れる際、地域が一体となって受け入れた実績がある。
- ・通学に掛かる時間は子供にとって負担は少ない。

○どちらの学校も自然豊かな環境のもとで、地域の支援を受けながら教育活動が行われており甲乙付けがたい。今後も地域とともに特色ある教育活動を継続していく。

○子供たちの負担にならないような決定になることが望ましい。

○通学時間が長くなることは子供の負担になるのではないか。

○緊急時や自然災害時の対応を考える必要がある。子供たちが学校に通えなくなる場合がある。

○子供の人数が減っていくが、この先も今の学校が存続することが地域の願いである。

○答申としては、甲乙つけがたく決めかねるため、決定は教育委員会に委ねる。

8 閉会